

PRI 報告フレームワーク

シニア・リーダーシップ・ステートメント

2023

最終改訂日: 2023年1月18日

本資料は日本語参考訳です。英語の PRI REPORTING FRAMEWORK も併せてご確認ください。

日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

目次

シニア・リーダーシップ・ステートメント 3

SLS 1 3

シニア・リーダーシップ・ステートメント

指標 ID	依存関係	該当なし	サブセクション	PRI 原則	指標種別
SLS 1	ゲートウェイ	該当なし	シニア・リーダーシップ・ステートメント	一般	コア

セクション 1. 組織のコミットメント

- なぜ貴組織は責任投資に取り組んでいるのですか。
- 貴組織の責任投資に対する全体的なアプローチはどのようなものですか。また、責任投資について、主としてどのようなコミットメントをしてきましたか。

[自由記述: 500 ワード以内]

セクション 2. 年次概要

- 責任投資において貴組織もしくはその資産に最も関連する、または最も重要と思われる課題について、報告年度における貴組織の進捗状況を説明してください。
- 報告年度における貴組織の責任投資の目的および目標について、貴組織の実績を記入してください。ここには、以下のようなトピックに関して(該当する場合)、貴組織が唯一最も重要だと考える成果についての概要や、貴組織の全般的な進捗状況の説明などを記載します。
 - ESG の分析や組み入れの改善
 - 投資先および/または政策立案者とのスチュワードシップ活動
 - 協働エンゲージメント
 - 責任投資に関する認証および/または賞の獲得

[自由記述: 500 ワード以内]

セクション 3. 今後の措置

- 貴組織は今後 2 年間で自らの責任投資に対するコミットメントの向上に向けて、どのような具体的措置を定めましたか。

[自由記述: 500 ワード以内]

セクション 4. 承認

「シニア・リーダーシップ・ステートメントは署名者により作成および/またはレビューされ、組織全体の責任投資に対するコミットメントおよびアプローチを反映したものです」

署名機関連注事項: 上記の承認が PRI 報告全体ではなく、シニア・リーダーシップ・ステートメントについてのみ行われたことを説明するために、PRI は下記のオプション(A)の文言を提案しています。

署名機関は、オプション(A)を選択し、下記の文言を使用できます。あるいは、オプション(B)を選択し、下記の文言を採用するか、あるいは自組織の意向に合わせるかおよび/または当該法域で適用される法的な要件もしくは基準に合わせて、全く新しい文言を記入することもできます。

氏名	[自由記述: スモール]
職位	[自由記述: スモール]
組織名	[事前入力済]

○ (A)

「この承認はシニア・リーダーシップ・ステートメントについてのみ行われたものであり、報告フレームワークの各種モジュールで上記組織が報告する情報についての承認と見なされるべきものではありません。

シニア・リーダーシップ・ステートメントは上記組織の責任投資に対するアプローチの全般的な概要として提供されたものです。シニア・リーダーシップ・ステートメントは助言と見なされるものではなく、また助言として依拠すべきものではありません。さらに、シニア・リーダーシップ・ステートメントは投資その他のビジネス上の意思決定を行う際において、いかなる第三者、自組織の経営陣、従業員、顧問および/または顧客の技能、判断、経験の代替となるものでもありません」

O (B)

[自由記述(必須): 300 ワード以内]

説明

指標の目的

シニア・リーダーシップ・ステートメントは、署名機関の報告の枠組みとなるもので、署名機関の責任投資に関するアプローチや実績の概要が記載されます。主な目的は次の3つです。

- (1) PRI 報告および責任投資全般に関する組織内での認知度ならびに説明責任を向上する
- (2) 責任投資の意思決定および進捗状況追跡のために組織内で PRI 報告を利用することを奨励する
- (3) 外部のステークホルダーが、署名機関の責任投資に対する全般的な考え方を知らるために PRI 報告を利用することを促進する

シニア・リーダーシップ・ステートメントは、署名機関の報告および評価結果の冒頭に表示され、署名機関を紹介する導入部となります。

PRI は本ステートメントの評価は行いませんが、記入は必須です。

追加報告ガイダンス

シニア・リーダーシップ・ステートメントには、署名機関の最高経営責任者 (CEO)、最高投資責任者 (CIO)、最高執行責任者 (COO)、またはプライベート・エクイティ・ファンドの場合はそのパートナーなどの署名機関の上級執行レベルのスタッフ、またはそれに相当する者による署名が必要です。

署名機関は、セクション 1、2、3 に示した指標に関するトピックについて説明してください。ただし、署名機関は各セクションに記されたトピックの一部のみについて説明することも、または(関連セクション内において)別の順序でそれらについて説明することもできます。また、署名機関は各セクションに関係すると思われるその他の情報を追加することもできます。

セクション 1. 組織のコミットメント

「なぜ貴組織は責任投資に取り組んでいるのですか」という質問に回答する際に、署名機関は自らの責任投資の取り組みについて、またこれらの取り組みが自らの活動にいかんして価値を付加するかについて述べるすることができます。

セクション 2. 年次概要

本セクションでは、署名機関は報告年度に実現された進捗状況について説明してください。これは報告年度の取り組み結果に限定されたものではありません。戦略的な目標の進展には、1 年という期間が一般的に短すぎることを PRI は理解しています。

本指標の「最も関連する、または最も重要な」責任投資上の課題とは、署名機関が自組織およびその資産に最も重大な(プラスまたはマイナスの)影響を与えると考えている、または予期している責任投資上の問題を指しています。

セクション 4. 承認

	<p>オプション(A)の「上記組織」とは、「組織名」の欄に示されている署名機関を指しています。</p> <p>承認には、シニア・リーダーシップ・ステートメントの内容を草案または承認した当該署名機関の上級執行レベルのスタッフの氏名を記入する必要があります。</p> <p>この承認は、シニア・リーダーシップ・ステートメントの内容に対してのみ行われるものです。また、報告フレームワークの他のモジュールで報告されるいかなる情報に対しても行われるものではありません。この範囲の限定については、上記のオプション(A)で PRI が提供している文言に示されています。署名機関が自らの言葉でこれについて記入したい場合は、上記のオプション(B)を選択してください。オプション(B)を選択する場合でも、署名機関は、オプション(A)で PRI が提供している文言を複製し、必要に応じて適宜変更することができます。あるいは、全く新しい文言を記入することもできます。</p>
ロジック	
依存関係	該当なし
ゲートウェイ	該当なし
評価	
本指標は評価の対象とはなりません。ただし、すべての署名機関において記入は必須です。	